

第 1 学年 *組 国 語 科 学 習 指 導 案 平成23年10月 日 () 第 校 時 教室 指導者 T 1 : 小 沼 智 美 T 2 : ** **			
育成する国語の能力	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解すること。		
単元目標	○我が国と中国の文化の関係に興味をもち，進んで漢文の特質を知ろうとする。 (関心・意欲・態度) ○訓読のきまりに基づいて正しく訓読することができる。 (読む能力) ○訓読のきまりを理解している。 (知識・理解①) ○我が国と中国の言語文化の関係を理解している。 (知識・理解②)		
単元の 評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	①我が国と中国の文化の関係を知ろうとしている。 ②プリント学習を通して自ら進んで訓読のきまりを覚えようとしている。	①訓読のきまりに基づき，正しく漢文を訓読している。	①訓読のきまりを理解している。 ②中国の言語文化が現代の我が国の言語文化に影響を与えていることを理解している。
取り上げる言語活動	漢文を音読し合う。		
題材 (教材)	漢文入門 「訓読に親しむ1」「訓読に親しむ2」 『標準 国語総合』(第一学習社)		
単元 (教材) について	(1)教材観：「漢文入門」は訓読のきまりを生徒が身に付けることができる教材である。「故事成語」・「漢詩」に入る前に位置付けられている。中学校での学習内容も復習できる教材となっている。 (2)生徒観：訓読の学力調査シートを実施したところレ点の一つある文章は6割，一・二点で3割の正解率であった。訓点の種類や数が増えるに従いできなくなる傾向にある。現状のまま教科書の漢文を読み始めることは困難な状況である。 (3)指導観：日本語を構成するすべての文字は中国に由来することを生徒が理解するために，漢字を書き崩してひらがな・カタカナにする学習をする。また訓読のきまりのプリントを繰り返し学習する。		
指導計画 (学習計画)	主な学習活動		主な評価
	1	プリントを使用し，漢字をひらがなやカタカナに直すことで日本語と中国文化の関係について理解する。 (1時間)	・我が国と中国の文化の関係を知ろうとしている。 (関心・意欲・態度) ・日本の言語文化は中国に影響を受けていることを理解している。(知識・理解②)
	2	プリントを解くことで訓読のきまりを理解し，音読をする。 (5時間)	・プリント学習を通して自ら進んで訓読のきまりを覚えようとしている。 (関心・意欲・態度) ・訓読のきまりに基づき，正しく漢文を訓読している。 (読む能力) ・訓読のきまりを理解している。 (知識・理解①)
3	確認テスト (1時間)	・訓読のきまりに基づき，正しく漢文を訓読している。 (読む能力)	

本 時 案 (第7次の第3時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまりに基づいて正しく訓読することができる。(読む能力) ・訓読のきまりを理解している。(知識・理解①) 	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 本時の目標を確認する。	○本時の目標を伝える。	
一・二点の特徴を理解して訓読してみよう。		
2 漢文訓読ルールの確認をする。	○黒板を使って、ルールの確認をする。 ○注意しなければいけないルールは、念入りに行う。【返り点キャラクターを使用】	
3 前時の復習(レ点)のプリントを解き、できた者からT1・T2いずれかの添削を受ける。 (個人)	○前回のレ点の訓読を復習をすることで本時での学習をスムーズにする。 ・プリントの□の左下に何も付いていない所から読むように指導する。 ・レ点はレ点の下を読んでから一つのみ上に戻れることを再認識させる。	
4 一・二点の特徴や訓読の仕方の説明を聞き、黒板の問題を皆で解いてみる。 (一斉)	○一・二点の特徴や訓読の仕方をゲーム風に説明し、黒板の問題を生徒に解答させる。 ・プリントの□の左下に何も付いていない所から読むように指導する。 ・レ点や番号に従って読むように指導する。 ・□の中に文字が入っても同じ仕組みであることを説明する。	
5 本時のプリント(一・二点/レ点との混合)を解き、できた者からT1・T2いずれかの添削を受ける。 (個人)	○一・二点/レ点との混合のプリントを解かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきなり一点から読み始めてしまう。 ・二点をいつ読んでいいのかわからず混乱する。 ・一・二点が増えると、増えた一・二点の順番がわからなくなってしまう。 ・一・二点とレ点の混合になると混乱し学習したことを忘れて読めなくなってしまう。 ・プリントの□に文字が入ると読めなくなってしまう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><予想される生徒の反応に対する手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ずプリントの□の左下に何も付いていない所から読むように指導する。 ・番号に従って読むように指導する。 ・訓点の個数が増えても読み方は変わらないことを伝える。 ・レ点・一・二点の特徴を再度確認する。 ・初めはプリントの□の中の文字を気にせず、□に付く訓点に注目して解くように指導する。 </div>	<p><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまりに基づいて正しく訓読することができる。(読む能力) ・訓読のきまりを理解している。(知識・理解①) <p><評価の方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを回収し、プリントの達成度を見る。 <p><努力を要する生徒への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無気力な生徒には1～2問一緒に問題を解くようにする。 ・できない生徒には生徒のつまずきに応じてポイント説明をし、一緒に問題を解く。 <p><十分満足できるの状況の生徒への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何も書いていない□にレ点や一・二点を書き込んでオリジナル問題を作成し、生徒間で問題を出し合い、訓点の特徴を確実につかめるようにする。(次回の復習プリントに反映することを予告する。)
6 生徒2～3人でグループになり、解答したプリントの問題を音読し合う。 (グループ)	○本時の内容を声に出して学習する。 ・生徒2～3人のグループをつくる。 ・生徒間でプリントの問題を指し、読み合うように指示する。	
7 まとめ	○本時のまとめをし、次回の予告をする。	